

<高付加価値型農業に取り組む事例>

○目指せ多面的な特色ある農村

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	福岡県久留米市田主丸町 石垣 <small>く り め し た め し ま る ま ち い し が き</small>			
協 定 面 積 36ha	田 (94%)	畑 (6%)	草地	採草放牧地
	水稲	柿・ぶどう		
交 付 金 額 299万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	役員手当		7%
		農業生産活動体制等整備		20%
		水路農道農用地維持管理費		23%
協定参加者	農業者 84人			開始：平成13年度

2. 取組に至る経緯

石垣集落は、耳納連山北麓の観光果樹園の多い地域に位置しており、久留米市田主丸町の特産物である巨峰・柿のシーズンに、多くの観光客がフルーツ狩りに訪れる地域である。

農業者の減少や高齢化が進む中、農業生産活動や農地の多面的機能を維持していくため、平成13年度から中山間地域等直接支払制度に取り組んでおり、集落の一層の活性化を図るため、集落ぐるみで多面的な特色ある農村づくりを目指している。

3. 取組の内容

活動内容としては、高付加価値型農業に取り組むためカバークロップとしてレンゲの作付けを行い、米の減農薬・減化学肥料栽培に取り組み、にじ農業協同組合へ出荷し「耳納連山れんげ米」として販売している。

また、集落内の連携を図るため、水路・農道管理作業の後に集落の伝統行事である「ちびっこ相撲」を開催したり、クリスマスのイルミネーションを行ったりしている。



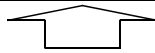
【レンゲ畑を背景に水路の除草】



【「耳納連山レンゲ米」と生産者】

【集落の将来像】

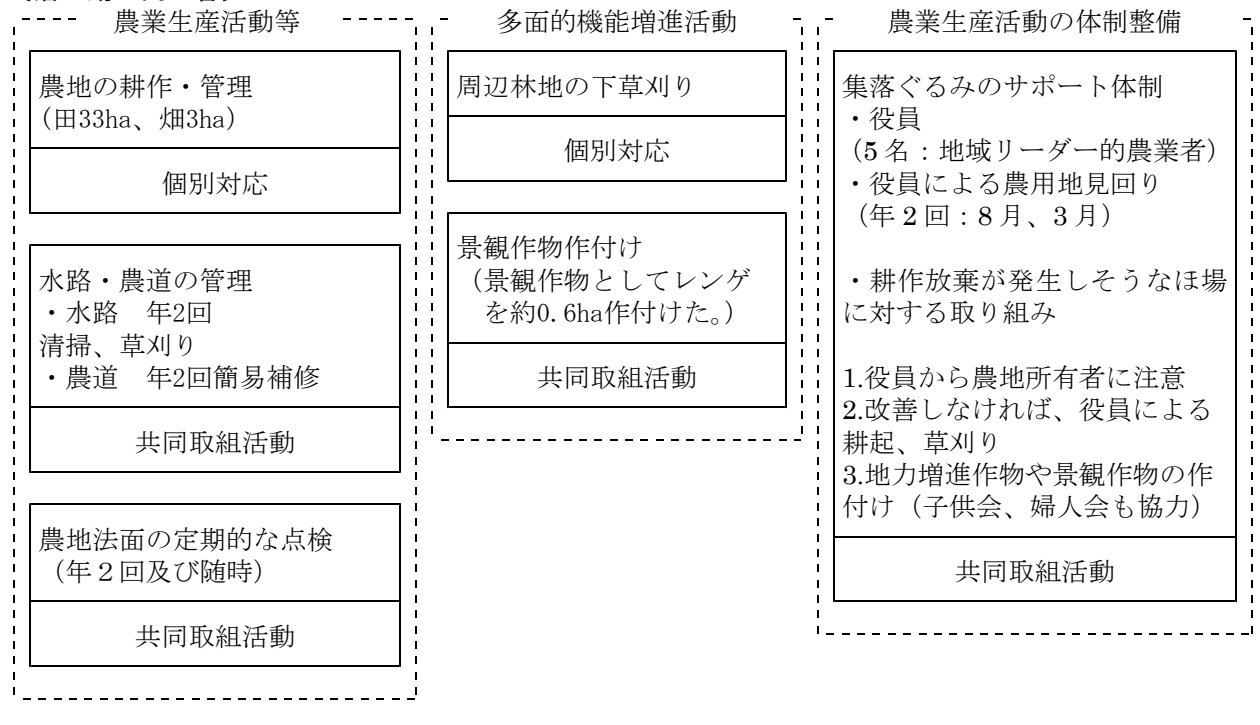
- 高付加価値農業を推進していく。
- 農業者と非農業者で連携して農道等の除草や、水路の整備を行っていく。
- 集落ぐるみで多面的な特色ある農村づくりを行う。



【将来像を実現するための活動目標】

- 農業者と非農業者が相互に様々な活動協力をを行い、両者が一体化した集落を目指すことにより、多面的な特色ある農村づくりを目指す。

【活動内容】



4. 今後の課題等

農家と非農家が連携し、集落ぐるみで活動することにより、集落全体の意識が向上し、集落の活性化に繋がったが、その一方で農家の担い手不足や高齢化は避けられない状況にある。このため、高付加価値農業の推進に取り組み、耕作放棄が発生しそうな圃場に対する集落ぐるみでのサポート体制を確立し、農地集積や認定農業者の育成等を図りたいと考えている。

【第2期対策の主な成果】

- 担い手育成に係る取り組みとして認定農業者の育成を行い、新規に1名認定農業者として認定された。
- 景観作物の作付け(7.2ha)を行い、その管理や維持に関して役員を含めた農業者を中心に、集落ぐるみ(婦人会や子供会)で行い、地域の活性化が図られた。
- 年2回の水路・農道の清掃及び草刈り(1.4km)や、水路の目地詰め、農道の補修を行ったことにより離農者の防止が図られた。